

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 1 年 9 月 3 日

事業所名 ちびっこタイム品川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	65%	35%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	55%	35%		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	73%	27%		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	73%	17%		・行ける曜日が限られているので何とも…
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	35%	35%	・特に知らない。お出かけ先で会う等はありそう。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90%	10%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	45%	27%	18%	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	63%	27%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90%	10%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	63%	18%	9%	・pc等を見る機会がないのでどちらともいえないにしました
	14	個人情報に十分注意しているか	82%	18%		・faxの裏紙等を子どもが持ち帰ってますがそれは大丈夫なのでしょうか。
非常 時等 の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	55%	27%	9%	・マニュアルは確認していない
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	90%		10%	
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	72%	18%		・毎回楽しみにしています
	18	事業所の支援に満足しているか	55%	35%		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がいの特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における評価の集計結果(公表)

公表:令和 1 年 9 月 3 日

事業所名 ちびっこタイム品川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			
	2	職員の配置数は適切である		100%		管理者1名/指導員3名(社会福祉士,介護福祉士,児童指導員)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		100%		ワンフロア1室で行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50%	50%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		100%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		50%	50%	ホームページをリニューアルし、公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%		H30年度に第三者評価を実施しました。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		100%		キャリアパス研修に参加。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	50%	50%		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		100%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		100%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	50%	50%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	50%	50%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	50%	50%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	50%	50%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	50%	50%		3か月に1回のモニタリングを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	50%		50%	

関係機関 の連携 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	50%	50%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	50%	50%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えている				
関係機関 や保護者 との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		50%	50%	同事業所の児発と連携を図る。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				・中学3年生までの利用としているのでやっていない。 ・今後は高校生を含め、就労プログラムに特化した支援を目指したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		50%	50%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			100%	公園遊びでの他児童との関わる機会を設けました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			100%	協議会はありませんでした。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	50%	50%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		50%	50%	保護者からの課題についての助言やアドバイスを行ってきました。
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	50%	50%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	50%	50%		連絡帳や送迎時および面談時にお話しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		年2回保護者会を開催しました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	50%	50%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		50%	50%	
	35	個人情報に十分注意している	100%			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	50%	50%		
非常時 等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100%	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		100%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%			毎月避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			毎月勉強会を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解した上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				対象児はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	50%	50%		職員会議にて報告を上げ、共有しています。